

科目ナンバー	C7409	要件	教職必修 保育必修	授業形態	演習	対象学生	Ⅱ A Ⅲ C D
授業科目	保育内容総論						
実施期	前期	単位数	1単位	授業者	山村 悦子		
【科目の概要】							
<p>保育所保育指針や幼稚園教育要領などに示されている保育の基本、5領域のねらい・内容を踏まえ、乳幼児の発達や生活の様子、現代社会における子どもを取り巻く環境、遊びなどから保育内容を実態に即して捉え、子どもの主体性を大切にされた保育、生活や遊びを通じた総合的活動としての保育とはどのようなものであるか事例を通して学ぶ。</p>							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	保育の目標、子どもの発達と保育内容を関連付けて、全体的な構造を理解している。						1-c
イ	子どもの主体的な活動を保障するための保育内容や環境を構成する技能を身に付けている。						2-c
ウ	保育の基本を踏まえた子ども理解や保育記録を通して、適切な保育内容を考えることができる。						3-d
エ	子どもを取り巻く現状から現代の保育課題や、子どもの実態に即した保育内容と指導法について関心をもち、実践力の向上に努めている。						4-c
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	本科目のねらい、計画、参加方法、評価等について			月 日	シラバスを熟読しておく。		
2	保育の基本と保育内容			月 日	要領・指針等の「総則」を読む。(0.5時間)		
3	健康と運動に関する保育内容の歴史			月 日	要領・指針等の領域「健康」を読む。(0.5時間)		
4	人間関係と社会性に関する保育内容の歴史			月 日	要領・指針等の領域「人間関係」を読む。(0.5時間)		
5	自然や環境に関する保育内容の歴史			月 日	要領・指針等の領域「環境」を読む。(0.5時間)		
6	言葉とコミュニケーションに関する保育内容の歴史・DVD視聴			月 日	要領・指針等の領域「言葉」を読む。(0.5時間)		
7	音楽・造形的表現に関する保育内容の歴史			月 日	要領・指針等の領域「表現」を読む。(0.5時間)		
8	子ども理解と保育内容 (獲得を目指す力の確認)			月 日	「遊び」について調べておく。(0.5時間)		
9	保育記録と保育内容			月 日	保育記録について調べておく。(0.5時間)		
10	保育実践と保育内容			月 日	子どもを取り巻く現状について調べておく。(0.5時間)		
11	指導計画と保育内容			月 日	計画と評価の関係性を調べておく。(0.5時間)		
12	乳児保育、長時間保育と保育内容			月 日	通常保育との違いについて調べておく。(0.5時間)		
13	特別な支援を必要とする子どもの保育と保育内容			月 日	多文化共生について調べておく。(0.5時間)		
14	保幼小連携と保育内容			月 日	移行期の課題などを調べておく。(0.5時間)		
15	現代社会と保育ニーズ			月 日	保育の現状や課題を調べておく。(0.5時間)		
16	まとめと試験			月 日			
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
「保育内容の基礎と演習」 柴崎正行 編著 (わかば社)				受講態度20%、提出物・発表30%、試験50%			
【参考書・教材】							
幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 その他の参考書については授業で随時紹介する。必要に応じて資料プリントを配付する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
必要に応じてワークシートを利用するので 欠席をした場合はその内容を確認しておくこと。 グループで取り組む活動においては積極的にかわり他人任せにしないこと。							
【履修上の遵守事項】							
30分以上の遅刻は欠席とみなす。また、遅刻3回で欠席1回とみなす。							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先：				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
		ア①	乳幼児期の心身の発達と保育内容に関する基礎的知識	乳幼児期の心身の発達について概要を述べることができる。	乳幼児期の前期、後期の発達の筋道について特徴を説明することができる。
ア②	5領域に示された保育内容に関する基礎的知識	5領域の「ねらい及び内容」について概要を説明することができる。	各領域に示された「内容」を、子どもにとってふさわしい保育内容として具体的に考えることができる。	各領域に示された「内容」を、子どもにとってふさわしい保育内容として具体的に考え、他領域と関連付けて説明することができる。	
イ	乳幼児の発達を踏まえた、計画的な保育環境を構成する技術	環境構成と乳幼児の生活や遊びとの関係について述べるることができる。	遊びや生活を豊かにするための環境構成について、具体的に説明することができる。	発達を促す環境について、計画的に構成するための知識を身に付け、具体化することができる。	
ウ	子ども理解から始まる環境構成や援助などの保育実践と保育記録	環境構成や援助、保育内容などについて、子ども理解に基づいて述べるることができる。	子ども理解を深め、環境構成や適切な援助、保育内容などの関係性を踏まえた保育実践を記録することができる。	子ども理解に基づく環境構成や適切な援助について、保育実践の記録などから振り返り、改善につなげていくことができる。	
エ	乳児保育、長時間保育、特別支援児の保育、保幼小連携などの保育の多様化と保育内容に対する興味・関心	社会情勢の変化に伴い求められる保育の多様化について、日ごろから関心を持ち現状を述べることができる。	乳児保育、長時間保育、特別支援児の保育、保幼小連携などの保育には、他と異なる保育内容があることを述べることができる。	保育の多様な展開について、自らの感性や価値観を振り返りながら、他とは異なった配慮、計画、対応などを考えることができる。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					